

【戦後80年特別寄稿】

憲法九条が心配になる

元入山辺公民館長 大島 正人

2025年(令和7年)から80年前は1945年(昭和20年)です。この年の8月15日正午に現人神(天皇陛下)の玉音放送があり、あると予告がありました。初めてのことで、何を話されるか、「本土決戦も近づいた。心して頑張れ。」か。家で、ラジオの前に正座して聞きました。初めて聞く陛下の声は聞きづらく、その上難語句が多く、理解できません。アナウンサーの解説で、「ポツダム宣言」を受諾して降伏する証書を読まれたのです。予期に反する

敗北で途方に暮れました。ラジオは続いて「陸軍大臣阿南惟幾大將が、前夜官邸で『一死以て大罪ヲ謝シ奉ル』の遺書を書き、自刃」を報じました。涙が出てきました。昭和20年のできごとを詠み込んだ短歌を聞いたことを思い出しました。

「六三三」 八六八九 八一五
五三に繋げ 吾ら今生く。
何の数字か分かりますか。
六三三「沖縄戦終結の日」
八六「広島原爆投下」 八九「長崎原爆投下」 八一五「太平洋戦争終戦」 五三「日本国憲法施行日」です。私たちはすばらしい憲法を受け入れましたが、生活はまだ苦しかったです。明るく新しい日本の建設を目指しました。

明治の初め武士の時代の鎖国が解けて外国の進歩した国状を知り、追いつき

令和7年11月1日現在

世帯数	829戸
男	840人
女	872人
総人口	1,712人



青年学校軍事訓練の様子
場所は入山辺小学校
(出展 入山辺小学校誌)

つか死あるのみ」の教えで勝つ見込みがなくても、降参しないで全滅(玉碎)しました。80年前によく降伏しました。降伏の条件の一つに、戦争犯罪人の厳

追い越せと、「富国強兵」をスローガンにしました。大正から昭和へと実ってきた

出来た神の国だ。天皇は現人神(人の姿になっている神様)で、軍隊は皇軍、戦争は聖戦(天に変わって不義を打つ)、天佑神助がある、世界に冠たる国だと教えられました。

大日本帝国が、昭和に入って、アジアの盟主になろうと、身の程を超えた望みを抱きました。西暦1940年(昭和15年)は、初代の神武天皇が即位されて皇紀2600年になる。外国より660年も早く

その頃の軍人や軍人に同調する政治家が、大東亜戦争を始めました。敵国特に米国の国力は、日本の10倍以上。国民はそれを知らないから全面的に軍に協力しました。「皇軍に降参・参ったは無い。勝



地域の掲示板

罰がありました。犯罪人は日本の軍閥とされて7人が絞首刑になりました。靖国神社は7人を殉難者として合祀しました。

日本の軍人や国民の犠牲者は310万人。相手国の犠牲者は2000万人を超えるそうです。特に隣国の政治家は、日本の戦犯を祀る靖国神社を参拝するとは何事かと文句が出ます。日本国内でも「是と非」が分かれるようです。

「是か非か」現憲法が施行されて78年、特に九条「戦争の放棄、戦力の不保持及び交戦権の否認」を今迄変えませんでした。

私は武器を持つての殺し合い、文明を壊滅する戦争はしない、現憲法の時代を生きてきました。この秋、発足した高市新政権の九条改正の動きが心配になります。

大島 正人さん(上手町)

昭和2年に生まれ、戦争の時代を経験。元小学校校長。平成4年から8年間入山辺公民館長を務める。松本市公式YouTubeチャンネルにおいて「師範学校時代の戦時中の思い出」を語られている。

あいさつ

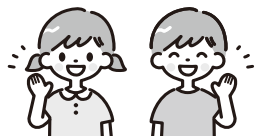
山辺小学校
6年生
鎌倉 蒼大さん

今、ぼくが、頑張つて取り組んでいることは、あいさつです。

ぼくは、あいさつが、にがてで、自分からあいさつをしなことは、あまりありません。例えば、朝、おきてきたときや、学校に行くとき、帰るときなど、相手から、してきたのに、かえさなかつたりすることが、多いです。

なので、今は、相手よりも先にあいさつをしようと、心がけています。けど、友達など話してるときに、通つても、あいさつをしてないのでも、友達と、話してるときから、どんなときでも、自分から、あいさつを心がけています。

なので、朝、起きて、ねむいときや、外にでたときのあいさつを自分からして、1日を元気にスタートしよう、と思っています。



我が町会の自慢!

南方町会

南方諏訪神社は、建御名方命、手力男命を祭神しており、創建は長祿年間(一四五七―一四六〇年)と伝えられています。

現在、境内地の本殿、幣殿、拝殿は一体となっています。

本殿は、一間社流造、茅葺き屋根の社殿で、江戸時代中期宝暦二年(一七五二年)に建築されたと推定されます。

向拝付木鼻の獅子二体の裏面には墨書きがあり、これらの付木鼻(獅子・猊)は公儀彫物師(幕府に仕えた彫物師)として知られる高松頼品の作品であり、明和七年(一七七〇年)に付加したと思われます。

なお、内陣内部に納められている木札二十三点は、本殿の維持の過程等を伝える重要な資料であるため、平成二十九年三月二十九日に松本市重要文化財に指定されました。

(公民館長 赤羽 稔彦)



南方神社本殿

入山辺! 全員集合!! 2025



「入山辺! 全員集合!! 2025」が10月11日(土)に開催され、約300人が参加しました。明け方に小雨が降り、運動広場での開催が心配されましたが、開会式が始まる頃には雨もあがり、全てのイベントを開催することができました。また、今年はお楽しみ抽選会の景品を倍増するとともに参加賞も配布。露店も4店舗の出展があり、多くの方が楽しむことのできた、満足度の高い「全員集合!!」となりました。



たくさん入れて



パン食い競走



健康麻雀



ハッピーフィットネス



マラソン



庄助さん